

福祉

くまの



熊野市社協



特集

熊野市
生活支援体制整備事業

～井戸町 大馬神社にて～

No. 67

平成28年11月4日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

熊野市生活支援体制整備事業

進む少子高齢化

わが国では2005年を折り返し地点として、それまでの人口増加から人口減少社会へと向かいました。その反面、65歳以上の人口は今後も伸び続け、それは2040年～2050年頃まで増加傾向があると推測されています。

皆さんは「2025年問題」という言葉を耳にしたことはありませんか？

団塊の世代と呼ばれる方々（昭和22年～昭和24年生まれ）が全員75歳を迎える年が2025年。それにより「要介護高齢者（社会保障費）が急増するのではないか」と予想されるのが、いわゆる2025年問題と呼ばれるものです。

認知症高齢者の増加も見込まれるため、誰もが住み慣れた地域での暮らしを続けていくためには、新たな仕組み作りが必要になってきました。



今こそ地域の力を！

平成12年に施行された介護保険制度。3年に1度改正され、平成27年4月に施行されたものが直近の改正です。その改正の大きなポイントとして挙げられるのが「地域包括ケアシステム」の構築です。簡単に言えば、医療や介護サービスに留まらず、「地域」を含めた新しい支援体制を創っていきましょうというものです。

2025年問題や認知症高齢者の増加等により、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けていくには、地域住民による「支えあい（互助）」がとても重要になってきます。また、全国一律の内容である介護保険サービスのうちから、「要支援1・要支援2」と認定された方が利用できる、予防訪問介護と予防通所介護は市町村が行う地域支援事業へと移行されます。

地域支援事業にはヘルパー等の有資格者が行うサービス以外に、前述の地域住民や自治会等の地域で行う支援が明記されています。つまり、これからは地域の方々も助け合いの「担い手」として、その役割が求められているのです。

協議体の設置と生活支援

コーディネーターの配置

地域での互助が増々重要になる中、当社協では「熊野市生活支援体制整備事業」を熊野市より受託し、地域での支えあいづくりや地域資源の開発に向け各地区で協議を開始しました。

広い熊野市を4ブロック（海岸部・市内中心部・山間部・紀和）に区分けして協議体を設置し、それぞれで地区の困り事や将来の地域像等について情報を共有しながら、地域でどんな支えあいができるのか等を検討しています。

当市のような過疎高齢化が進む地域の支えあい活動は、住民のみならず、行政機関や民間企業、NPO法人、老人クラブやシルバー人材センター等の多様な組織が一丸となって取り組むことが特に重要になります。そのため、協議体では様々な職種や立場からの参画を求め、それぞれの視点からの意見を頂きながら

地域での取り組みを考えています。



協議体の運営と、地域ニーズと地域資源をつなげる役割である「生活支援コーディネーター」として、当社協の3名の職員がそれを担っています。

協議体を設置する中で

わかってきたこと

当初は、「何か新しい取り組みを考えなければ！」という思いがあったのですが、実際には各地区とも既に行われている、住民同士の助け合いが多数行われていることがわかってきました。

平成27年10月現在、日本全体の高齢化率は26.7%。それに対して熊野市は平成28年10月現在、41.27%であるので、国を大きく先行しています。当市では既に超高齢社会を迎え、その中で各地区の皆さんも互助の必要性を認識されていると強く感じました。

これからも、地域の方々との話し合いを続けながら、既に実施している住民同士の互助を維持させること、また、5年、10年後を見据えた地域づくりに向け、全力で邁進していきたいと思っています。





熊野市ボランティアセンター
登録ボランティア数
団体:34 個人:6名
合計:1,631名
平成28年9月30日現在
ボランティア活動保険加入者のみ



声の

平成28年度 ボランティア養成講座
ボランティア講座を開催しました!

報告

10月1日から、全3回に渡り、平成28年度ボランティア養成講座「声のボランティア講座」を開催しました。

講師は、伊勢市ひばり朗読奉仕会 会長 志賀智子さん。ご自身の体験談も交えながら音訳や朗読についてお話いただき、アットホームな雰囲気の中で楽しく開催することができました。

参加者の皆さんに受講の理由を聞いてみると、「ふだん声を出す機会が少ないので、この機会に…」・「新しいことを学んでみたい」・「読み聞かせの活動をしているので音訳に興味がある…」と様々な“思い”がありました。

ボランティア活動のきっかけは人それぞれ。興味のあることをきっかけに、自分に合った活動を探してみるのも良いかもしれませんね。



谷川俊太郎・作「これはのみのびこ」
一息でどこまで言えるかな?

募集

紀南病院ボランティアさんを募集しています!

総合案内所付近での案内と玄関付近で車いすや歩行介助を行っていただけるボランティアさんを募集中! 興味のある方は、当センターまでお気軽にお問い合わせください。

◆活動日時 ※月1回の活動でもOK!

平日 午前8時半～午前11時半

◆場所 紀南病院(御浜町阿田和)



助成金情報

(公財)車両競技公益資金記念財団
が実施する 平成28年度 第2回
ボランティア活動推進
事業助成

- ◆助成対象事業 高齢者・心身障害(児)者に対する直接のボランティア活動に係る機材整備事業
- ◆助成率及び助成限度額 助成率は、9/10以内、限度額は900千円。
※詳しくは、当センターまたは三重県共同募金会までお問い合わせください。

『ボランティア活動中の事故やケガ』

過ごしやすい秋。ボランティア活動に取り組みやすい時期でもあります。そんな時に気をつけたいのは、活動中の事故やケガ。2013年のデータによると転倒事故が活動中にもっとも多いそうです。ケガや事故に注意し、楽しく活動できたら良いですね。



熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

住所:熊野市井戸町1150番地

担当:桑原 涼

電話:0597-89-5000

FAX:0597-89-3068

メール:r.kuwabara@k-shakyo.com

高齢者慰問事業

平成28年9月19日（月）、高齢者慰問事業を実施しました。

これは、今年満95歳を迎える方（※市内に住所を有する）のご自宅や利用中の福祉施設に訪問し、ご長寿をお祝いするもの。今年は大正10年生まれの方々がその対象となり、51名中31名の方々と訪問させて頂きました。

皆さんとてもお元気な方ばかり。数年前には男女ともに平均寿命80歳を越えたことから、「人生80年時代」なんて言われましたが、それも久しく感じます。

長寿は本当におめでたいことです。ただ、それと併せて生きがいを持って毎日過ごす事が大切だと思えます。当社協でも皆さんが生きがいを持って暮らしていけるような街づくりを目指します。皆さん、本当におめでとうございます。



敬老会開催中！

今年も9月より各地区で敬老会が始まりました。

戦中戦後の激動期を乗り越え、豊かな時代を築いてくださった皆さんに楽しいひと時を過ごして頂くこと、各地区とも住民の方々の協力のもと盛大に開催されています。

来賓の方々の温かい祝辞、頬が落ちそうな馳走、お腹を抱えて笑う余興等、どの地区も工夫を凝らした内容です。



熊野市戦没者追悼式

厳かに開催しました

平成28年9月6日（火）熊野市民会館において、熊野市戦没者追悼式を開催しました。

当日は、ご来賓の皆さまをはじめ、熊野市遺族会会員、熊野市遺族会新世代の部会員等、270名が参加されました。

熊野市から一四九〇柱もの尊い命を捧げられた方々がおられることを忘れず、ご冥福をお祈りいたしますとともに、大切に守っていただきましたこの熊野市を後世に引き継いでいきたいと思ひます。



11・12月の 無料法律相談

★開催日 11月15日(火)・12月20日(火)
 ★相談員 片山 眞洋 弁護士
 ★会場 熊野市保健福祉センター
 ★時間 13時から
 ★相談内容 民事全般(相続、離婚、雇用 etc)

※相談は一人10分間程度で予約順です。
 ※開催日前日の15時までに予約が必要です。
 (月曜開催の場合、予約は前週の日曜日15時まで)

【担当：地域福祉係 田坂】



平成28年10月4日にボランティアグループアルル夕様より、「福祉活動に役立ててください」と車いすを寄贈していただきました。本当にありがとうございます。

寄贈していただきました

リサイクル登録制度

介護用品や乳幼児用品のリサイクル登録を受付中です。詳しくはお問い合わせください。
 【担当：地域福祉係 桑原】

ランドセル購入費助成事業

今年も4月から小学校へ入学される子どもがいるひとり親世帯に対し、ランドセル購入費の一部を助成させていただきます。

対象者

①熊野市在住でひとり親世帯

②市民税非課税または国民年金減免世帯

※①、②どちらの条件も満たす世帯。

申請期限 平成29年2月28日まで

詳しくは総務課までお問い合わせください。

今年もやります！第4回もちつき大会

熊野市共同募金委員会では、平成28年12月10日(土)11時〜熊野市保健福祉センターにてもちつき大会を開催します。当日はもちつき体験や模擬店等もありますので、皆さま是非お越しください。

またバザーを行うにあたって物品を募集します。提供していただける物品がありましたらお願いします。

お問い合わせ

熊野市社会福祉協議会 総務課

社協ふれあいミニフェスタin新鹿

を開催します！

今年も新鹿町での開催が決定！新鹿地区社協や新鹿区、婦人会、青年団、老人クラブの皆さんと協力しながら、楽しいイベントとなるように現在企画中です。

フェスタ当日は、皆さんの笑顔が見られることを楽しみにお待ちしております。

日時 平成28年11月27日(日)

午前10時30分〜午後1時

場所 新鹿公民館

内容 ステージイベント、各種模擬店、相談コーナー、大抽選会等

数字の謎を解け！ ナンバープレイス

みんな応募ありがとう。簡単だったかな？難しかったかな？まだまだ出題するから僕が出す数字の問題に挑戦してね！右の空白に数字を埋めてA~Eのアルファベットが付いているマスの合計を答えるんだ。見事正解すれば景品を抽選で3名の方にプレゼント！たくさんのお応募を待ってるよー！！

※ナンバープレールのルール

- 1 タテヨコ一列に1~6の数字が入る。
- 2 タテヨコ一列に同じ数字は入らない。
- 3 区切られた2x3のブロックにも同じ数字は入らない。

11月30日までに、はがきにA~Eのマスの合計となる答え

住所、氏名、年齢、感想を書き

〒519-4324 熊野市井戸町1150

熊野市社会福祉協議会「福祉くまの担当者」までお送りください。



3	6		5		4
	2		3		6
6	3			A	
			B		C
5					3
			D	3	E

熊野市の人口と高齢化率

世帯数 9,145世帯

人口 17,724人
(男8,141人/女9,583人)

65歳以上 7,314人
(男2,999人/女4,315人)

熊野市の高齢化率41.27%
(平成28年10月1日現在)

みなさん秋です！秋と言えば…そう！食欲の秋ですね。これからさらに寒くなる時期に向けてたくさん蓄えねば。もちろん成長し過ぎないよう運動も大切です。表紙は井戸町にある大馬神社です。長年地元にはじめて行きました。なんとも神秘的な場所です。ちゃんと一緒にいい写真を撮ることができました。(おか)

あとかぎ

前回のナンバープレイスの答えと当選者

◆答え 赤い数字の合計

9

当選者は次の方々です。

土井 幸代 さま
 柿白 鈴子 さま
 中田 とくえさま

6	2	5	1	3	4
3	1	4	6	5	2
1	5	6	2	4	3
2	4	3	5	1	6
5	3	2	4	6	1
4	6	1	3	2	5

※図書カードを贈呈させていただきます。

福祉くまの No.67
 2016年11月4日発行

編集 熊野市社会福祉協議会 〒519-4324 三重県熊野市井戸町1150
 TEL 0597-89-5000 / FAX 0597-89-3068 / E-mail kumano@k-shakyo.com
 URL http://www.k-shakyo.com/